

平成29年度 第二尾張荘デイサービスセンター事業報告

【施設種別】介護保険法による通所介護・予防専門型通所サービス【1日利用定員】25名

今年度も、昨年度に引き続き利用者の獲得と収入面で、苦戦した1年であった。集中的・短時間のリハビリを行う運動特化型デイサービスが増加し、「預かり型（第二尾張荘デイサービス）」ではなく、「運動特化型デイサービス」へ利用者が流れたことが一因としてあったと思われる。さらに、要介護3以上の利用者30%以上で算定してきた中重度加算が、29年度は割合を下回ったことで算定できず、認知症利用者の増加に対応した認知症加算に切り替えたものの、収入の減少を避ける事はできなかった。

そのような中で、①認知症の進行予防に繋がるプログラムを職員間で情報共有しながら取り組み、②事業対象者の運動型デイサービスが徐々に軌道に乗る中で、要介護者も対象とした運動アクティビティを提供し、③地域サロンの人材育成・研修の場として、サロン実践者に繋がるボランティアの受け入れを行ってきた。以上の取り組みを地道に行うことで、29年度は以下のように事業を実施した。

1 基本方針

当施設にあっては、創設者の「愛するものは愛される」の経営理念に基づき、長年のデイサービスセンター経営の経験と、そのノウハウの蓄積を活かし「尊厳と生きがいのある生活」「利用者本位の自立支援」を基本として、利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止、又は、要支援・要介護状態となることの予防を資するものである。

2 介護度の改善・維持の取り組み

介護保険のサービスの基本は、「利用者本位」のサービスであり、「自立支援」にある。そのために利用者課題の把握に努め、ケアプランに基づき、介護度の維持・改善に努めた。また利用者自ら自主的にリハビリを実施できるよう、フロアにリハビリ器具を配置し、要支援から要介護の方まで、無理なく使用していただき、身体機能の維持・向上に取り組んだ。

3 介護保険外サービス

独居利用者の夕食準備にかかる負担の軽減や、家族の介護負担軽減を目的として、施設と同じ献立の夕食弁当をデイサービス利用時に、自宅まで届けるサービスを開始して約6年、利用者数は一日平均3～4名であった。また引き続き外部美容師による理容を実施し、ひと月に15～20名の方が利用され、外出が難しい利用者から好評を得た。

4 第三者評価事業の実施

施設経営には、基本的理念、経営方針はもとより、利用者の権利擁護、人権の尊重という根源的な理念を踏まえた、民主的で健全な事業経営が求められており、第三者評価事業として名古屋市在宅介護サービス事業連絡研究会に委託し、運動型通所サービスも含め、利用者、家族に「安心」と「信頼」を得られるよう、サービスチェックを行い、問題の洗い直しと改善目標を設定し、サービスの向上に努めた。

5 アクティビティ活動の促進

18 表(一日のサービス実施内容)参照

6 事故防止対策の取り組み

事故防止対策は、職員一人一人の意識対策が必要であり、「ひやりハット」「車両ひやりハット」「できごと報告書」「ひやりメモ」を通して改善策を見だし、事故発生時においては、「事故・苦情マニュアル」に基づき迅速に対応するように努めた。さらに職員会議の場で事故の検証を行い、事故を繰り返さないよう取り組んだ。

7 運動型デイサービスの実施

平成28年10月から開始した総合事業の運動型デイサービスは、平成29年7月に事業対象者1名が開始となり、現在は実費希望者を含め4名が利用している。体力測定の効果も可視化することができ、好評を得ている。

8 地域貢献

第二尾張荘運動型通所サービスの実践報告・事例を、いきいき支援センター主催のケアマネ学習会で発表することで、事業内容の周知に努めた。

守山区社会福祉協議会では「賑わいのある元気な守山区」を目指し、サロン等で活動する音読リーダー・音楽リーダーを養成しており、地域貢献の一環として、第二尾張荘デイサービスで、第一期生ボランティアの受け入れを行った。

9 職員の安全衛生・メンタルヘルスの取り組み

メンタルヘルスや安全衛生の取り組み（交通安全危険予知・腰痛予防・感染症対策など）を行い、身体的・精神的負荷の軽減を図り、より良い職場環境と健康（心身）を保持し、良質な介護サービスが提供できるよう努めた。

10 設備・備品の改善

- ・リース車両の変更
- ・食器の購入

11 職員の状況

(平成30年3月31日現在)

	施設長(人)	生活相談員(人)	看護師(人)	介護士(人)	運転手(人)	計(人)
正規職員	1	2	1	3		4
臨時職員				1		1
非常勤職員		2	2	7		9
派遣職員				3	3	6
計	1	4	3	14	3	20
兼務	①	④	③	⑤		

12 職員の研修状況

4月	・職員行動マニュアルの見直し	内部研修
5月	・事故の発生等緊急時の対応に関する研修 ・認知症高齢者の声かけと接し方実践研修	内部研修 外部研修
6月	・社会福祉施設職員研修 ・生活リハビリ研修 ・他施設見学 ・気付きメモからヒヤリと事故防止の検討	外部研修 外部研修 外部研修 内部研修
7月	・感染症及び食中毒の発生予防とまん延防止に関する研修 ・認知症介護実践者研修 ・倫理及び法令遵守に関する研修	内部研修 外部研修 内部研修
8月	・とろみ研修 ・認知症の方の対応研修	内部研修 内部研修
9月	・業務改善の取り組み	内部研修
10月	・事故事例・ヒヤリハット事例等事故防止につながる検討 ・非常災害時の対応に関する研修	内部研修 内部研修
11月	・利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修	内部研修
12月	・感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延防止に関する研修	内部研修
1月	・事故事例・ヒヤリハット事例等事故防止につながる検討 ・感染症及び食中毒の発生事例・ヒヤリハット事例の検討 ・身体拘束の排除のための取り組みに関する研修	内部研修 内部研修 内部研修
2月	・事故の発生予防又はその再発の防止に関する研修 ・認知症ケアと治療の実際	内部研修 外部研修
3月	・平成30年度の介護保険改定について ・ユーザー評価の結果より	内部研修 内部研修

13 区別登録者の状況

(平成30年3月31日現在)

	守山区	北区	計
男性(人)	17	0	17
女性(人)	46	1	47
計(人)	63	1	64

14 利用者の要介護度の状況

(平成30年3月31日現在)

登録現員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
64人	4人	8人	15人	25人	11人	0人	1人	—
100%	6%	13%	23%	39%	17%	0%	2%	1.98
28年度	1.5%	18.2%	31.8%	31.8%	15.2%	1.5%	0%	1.83

15 利用の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

	実施 日数	登録者数		延利用者数			1日当た りの平均 利用者数	29年度 利用率% (稼働率)	28年度 平均利 用者数	28年度 利用率% (稼働率)
		介護 予防	通所 介護	介護 予防	通所 介護	利用者 数合計				
4月	25	13	50	79	435	514	20.6	82.2	20.7	82.6
5月	27	14	52	86	462	548	20.3	81.2	20.1	80.3
6月	26	13	55	78	462	540	20.8	83.1	20.3	81.1
7月	26	13	53	83	466	549	21.1	84.5	19.2	76.8
8月	27	14	55	78	475	553	20.5	81.9	18.4	73.5
9月	26	13	52	79	469	548	21.1	84.3	20.4	81.5
10月	26	13	52	78	447	525	20.1	80.8	20.0	80.2
11月	26	13	46	80	424	504	19.4	77.5	21.4	85.7
12月	26	13	51	81	396	477	18.4	73.4	21.1	84.5
1月	25	13	48	73	365	438	17.5	70.1	20.3	81.3
2月	24	13	50	70	389	459	19.1	76.5	20.7	82.7
3月	27	13	51	65	394	455	16.9	67.4	20.0	79.9
計	311	158	617	930	5,184	6,110	—	—	—	—
平均	25.9	—	—	—	—	—	19.7	78.6	20.2	80.8

16 利用者の ADL の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

ADL		男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	割合 (%)
歩行	全 介 助	1	2	3	4
	一 部 介 助	2	15	17	27
	自 立	14	30	44	69
食事	全 介 助	1	1	2	3
	一 部 介 助	0	0	0	0
	自 立	16	46	62	97
入浴	全 介 助	1	2	3	4
	一 部 介 助	14	37	51	80
	自 立	1	9	10	16
着脱衣	全 介 助	1	3	4	6
	一 部 介 助	11	26	37	58
	自 立	5	18	23	36
排泄	全 介 助	1	1	2	3
	一 部 介 助	4	22	26	41
	自 立	12	24	36	56
認 知 症		14	38	52	80

17 年齢別の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	割合 (%)
65 歳～69 歳	0	0	0	0
70 歳～74 歳	1	3	4	6
75 歳～79 歳	1	6	7	11
80 歳～84 歳	7	8	15	23
85 歳～89 歳	4	15	19	30
90 歳～94 歳	4	10	14	22
95 歳～99 歳	0	5	5	8
100 歳以上	0	0	0	0
計	17	47	64	100
平均年齢	84. 7	85. 8	85. 6	—

18 一日のサービス実施内容

身体機能の維持・向上を図り転倒予防に努める・脳の活性化を図り認知症の進行予防に努める・気分転換を図り精神的安定を図る等を目的として、複数のメニューから利用者自らが主体的に選択することを重点に置き取り組んだ。

	午前のメニュー	午後のメニュー	その他のメニュー
手指 認知 創作 精神安定	入浴 計算問題・国語問題 カレンダー作成 間違い探し・塗り絵 オセロ・囲碁 書道教室・音楽療法 大正琴鑑賞	料理・針仕事・編み物 消しゴム版画・ちぎり絵 創作生け花・押し花 回想法・川柳・映画 麻雀・五目並べ・工作 尋常小学校読本 壁画作り・朗読会	ネイルケア ハンドマッサージ 整膚 健康に役立つ話し 生活に役立つ情報 傾聴・各種相談・行事 アロマ
運動	健康チェック リハビリ (器具を使用)	外出 オリエンテーリング リハビリ体操・ボール体操 リハビリ (器具を使用) ボーリング・輪投げ 脚力ゲーム	歩行訓練 転倒防止体操 上肢体操 下肢体操
口腔	口腔体操	カラオケ 会話・談話	発声訓練 口腔ケア
栄養	水分摂取・体重測定	食事・おやつ	旬の食材や栄養の話